

温かい食べ物 ほっとする

今日も東高校に避難している方へ、米 15 kg分のおにぎりとお鍋 4 杯の味噌汁、カットトマト・キャベツの塩もみを作り、支援物資で届いたサンマの蒲焼 210 缶とバナナと一緒に届けました。朝 9 時から組合員 5 人と職員で作業に当たりました。被災者の方からは、「1 日に 1 回でも温かい物を食べられるとほっとする」と喜んでくれました。おにぎりの配布を避難している子供たちも、笑顔で手伝ってくれました。



東高校での食糧配り。避難している子供も笑顔でお手伝い

薬をもとめる被災者の方が来ています



避難所を訪問する佐藤晶彦先生と佐藤保健師

病院は、朝・昼・夜に行っていた対策本部前での職員の打ち合わせを、今日から連休中は朝と昼の 2 回にしました。連休明けからは通常の体制での診察を行います。

今日は午後 4 時現在 15 人の浜通りでの被災者の方が受診しています。重症アトピーのある子供や精神科に通院していた方を含めて、薬が無くなるという方が多く来院しています。インフルエンザの疑われる子供もいて明日検査をすることにしました。今日も、丹治院長を中心にチームを作り避難所の訪問を行いました。

医療支援欲しい！ 北高校避難

ラジオふくしまの情報の書き込みで、北高校で物資が不足しているとのことで、急ぎよ午後から毛布・衣類・おむつ・八朔・お菓子類などを運びました。医療的な支援もほとんど届いていないことが分かり、わたり病院の対策本部で対応を検討中です。

情報をお寄せ下さい

「困っている組合員さんかいる」「こんなことをして喜ばれた」などの情報がありましたらお知らせください。

024-522-1236

福島医療生協・組織部